令和６年９月号
Vol.２６

クレアシオン

creation

男女共同参画白書

仕事と健康の両立～全ての人が希望に応じて活躍できる社会の実現に向けて～

「男女共同参画白書」とは、男女共同参画基本法に基づいて作成される年次報告書であり、男女共同参画社会の形成の状況などをまとめたものです。

今年の特集テーマは、「仕事と健康の両立～全ての人が希望に応じて活躍できる社会の実現に向けて～」です。誰もが自分自身の個性や能力を発揮し、家庭でも仕事でも希望通りに活躍できる社会を目指すためには、「健康」が重要な基盤となります。

女性と男性では、健康上の課題やそれを抱える時期が異なります。特に女性は生涯を通して、月・年齢・ライフステージごとに女性ホルモンの変化などから心身的な不調を抱えることが多いです。例えば 20 代から 40 代前半では妊娠・出産・子育てがありますし、40 代後半から 50 代では更年期を迎えます。

女性がキャリアを継続し、キャリアアップするためには、仕事と家事・育児を両立させる支援だけでなく、女性特有の健康問題への理解と支援も必要です。

女性が健康課題を抱えながらも働きやすい社会は、男性も含めた全ての人々にとっても働きやすい社会につながります。

社会全体で健康問題に取り組むことで、すべての人が自分らしい生き方や仕事を実現することが可能になり、日本経済や社会全体の活力向上が期待されます。

内閣府男女共同参画局
男女共同参画白書のページです

当センターでは、「フェムテックってなぁに？」講座を開催しました。また、「乳がん予防セミナー＆リラックス椅子ヨガ」講座の開催を予定しています。
P3.をご覧ください。

株式会社ローズキャリアスタッフ
代表取締役　笹部　美千代　さん

前号でご紹介した「ここからKitの長谷川さん」から、㈱ローズキャリアスタッフ　代表取締役の**笹部美千代**さんをご紹介いただきました。笹部さんは、会社経営者であり岸和田シティプロモーション推進協議会（ｋｃｐ）の発起人でもあります。笹部さんに起業やリーダー、まちづくりや男女共同参画についてのお話を伺いました。

◆起業のきっかけ

離婚をして、岸和田に戻ってきましたが、30 歳半ばの女性には思うような仕事はありませんでした。同級生の会社を手伝っている時に、大阪のイベント会社に間違い電話をしてしまった縁からそこで働くことになりました。1 年間いろいろ教えてもらい、自分でやってみようとイベント関係の仕事を始めたのがきっかけです。また、空港関係の知り合いから「空港人が育たない。協力してもらえないか。」と話があり、大阪市内の空港関係の専門学校とタイアップして関空で授業をさせてもらいました。裏方・バックヤードで働く人が不足しているというニーズを感じ、人材派遣業を始めようと考えました。無償でインターンシップとして現場で働かせてもらえないかと提案し、3 人の方が働くことができるようになり、派遣業が始まりました。

◆リーダーとしての苦労・喜びや大切に考えていること

仕事を頑張らないといけない 50 歳の時にがんになりました。抗がん剤治療で時間をなくしたくない。わたしのステージで、10 年生存率が抗がん剤を使った時と、使わなかった時とで 10%しか変わらないとのアメリカのデータを聞いて、抗がん剤治療を拒否し、放射線治療のみにしました。選択する責任は、自分にあります。あの時の 1 年があったから今の自分があります。違う選択をしていたら今の会社はなかったかもしれません。いろんなご縁をいただくこと、会話から力や勇気をもらっています。共に活動している仲間は大切です。創業者として、会社の全責任を負う覚悟はあります。これまでのことを思えば、経営者としての責任を苦労とは思わないし、これまでの道のりを苦労だとは思っていません。楽しかったし、孤独でもなく幸せだったとも思います。仕事や活動もそうですが、周りに誰かがいてくれているということが喜びです。

◆起業を考えていて、一歩踏み出せない方へのメッセージ

自分は何があっても普通の生活ができるという自信、最低限度の生活費を稼ぐという覚悟がまずは必要だと思います。その自信があるのであれば、人・金銭・時間など何でもプラスアルファの投資はすべき。「自分はこんなことをしたい」と人に相談することも大事。いろんな知恵をもらえるし、協力もいただけます。それができる人はチャレンジしてほしいと思います。

◆まちづくりへの参加について

岸和田に住んでいていろんな疑問が湧いて、審議会やまちづくり懇話会に出させてもらいました。市民は市に対していろいろ要望を言いますが、「できない」と言われてばかりで、不満が募ります。その繰り返し。市民は市民としてやれることがあります。要望するばかりではなく、自分達でやれることはやっていこう。その上で、市に要望していこう、と考え、声をかけて、ｋｃｐを設立しました。市制 100 周年の時に岸和田で花火を企画、実行しました。今年は 3 回目になります。名称は「未来花火」としました。今年は 10 月 27 日に行う予定です。

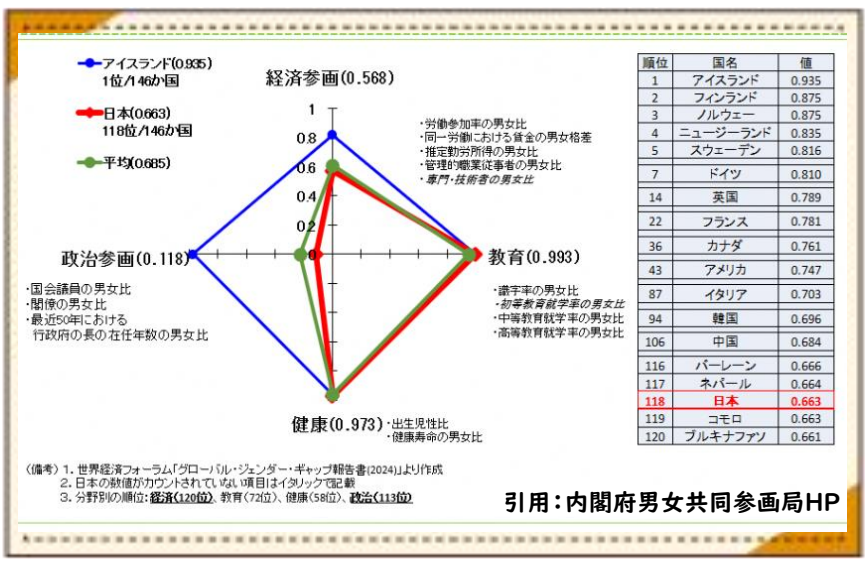
◆男女共同参画について

国や行政の力や法律を用いて女性が多岐にわたり参画できやすい環境を整えたとしても、女性側も「歩みを持つ・進む」という気持ちが絶対必要だと思っています。自己責任すべき責任は負いながら、一歩前に出るチャレンジをするということが必要だと強く感じています。

ジェンダーギャップ指数（GGI）2024 年

日本の順位：118 位/146 か国（2024 年 6 月 12 日発表）

世界経済フォーラムが経済、教育、健康、政治の分野ごとに指数を算出している。男性に対する女性の割合（女性の数値/男性の数値）で、0が完全不平等、1が完全平等となり、1に近いほど順位が高い。日本は「教育」と「健康」は世界トップクラスだが「政治」と「経済」の値が低い。



順位	国名	値
1	アイスランド	0.935
2	フィンランド	0.875
3	ノルウェー	0.875
4	ニュージーランド	0.835
5	スウェーデン	0.816
7	ドイツ	0.810
14	英国	0.789
22	フランス	0.781
36	カナダ	0.761
43	アメリカ	0.747
87	イタリア	0.703
94	韓国	0.696
106	中国	0.684
116	バーレーン	0.666
117	ネパール	0.664
118	日本	0.663
119	コモロ	0.663
120	ブルキナファソ	0.661

（備考）1. 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2024)」より作成
2. 日本の数値がカウントされていない項目はイタリックで記載
3. 分野別の順位：経済(120位)、教育(72位)、健康(58位)、政治(113位)

引用：内閣府男女共同参画局HP

開催しました

きしわだ男女共同参画フォーラム　7/7（日）男性育休を「有効活用」本人・周りの育児参画のコツを考える

講師：平野　翔大さん　（一社）Daddy Support 協会　代表理事

育児休業制度の改正により、夫婦ともに仕事と育児を両立するための柔軟な取得方法が可能になりました。企業も育休取得状況を公表し、ハラスメント防止や周囲の理解促進に務める義務が生じました。育児は一人だけで行うものでなく、家族や地域社会と協力して負担を分散する必要があります。夫婦は妊娠期から相互理解を深め、育児知識を共有し、計画的に仕事上の相談を行うことで長く両立させることが可能になります。育休取得する時期や期間など母体の産後ケアや「親」の負担分散を各家庭事情により考えることを提案いただきました。

講座　6/9（日）スマホ時代のこども達のために ～ネット犯罪の被害者にも加害者にもならない～

講師：竹内　義博さん　（一社）ソーシャルメディア研究会 チーフ技術指導員

近年、子ども達がネット犯罪やトラブルに巻き込まれる話をよく聞きます。子どもがネット犯罪の被害にあわないために、子ども達の現状、SNS のトラブル、闇バイト、ネットでの出会い、リベンジポルノなどについて、お話いただきました。

講座　8/18（日）親子でサイエンス・クッキング ～ミルクが固まる不思議！？～

講師：木村　万紀子さん　サイエンス・クッキング・プロデューサー

牛乳を使った実験をしながら、カッテージチーズ、フレンチトースト、ヨーグルトドリンクを作りました。料理は食材の化学変化。「理科」と「家庭科」がつながる発見がありました。

講座　7/27（土）実は理系女子だった！みんなが知らない「津田梅子」

講師：古川　安さん　総合研究大学院大学　客員研究員　科学史家

津田梅子が６歳で留学してから、晩年までのお話です。梅子は留学から帰国後した後、英語教授になりましたが、生徒たちの知的不活発さや日本女性の社会的地位の低さ、問題意識の低さにショックを受け、教職を生涯の職業と決め、アメリカで大学教育を受けることを決意。当時の日本女性では考えられない自然科学を専攻しました。
梅子はなぜ生物学を専攻したのか？どんな生物学教育を受けたのか、そしてなぜ生物学者への道を進まなかったのか、などのお話でした。女子高等教育不要論が主流の時代に、梅子は女子教育の道を切り拓きました。

講座　8/20（火）　フェムテックってなぁに？ ～ライフステージに応じた女性の身体と心の変化を学ぼう～

講師：ふち　いく子さん
（一社）日本フェムテックマイスター®協会代表理事

フェムテック(Femtech)とは、Female(女性)+Technology(技術)を合わせた造語で、女性が抱える健康問題をテクノロジーで解決する商品やサービスのことを言います。
女性自身だけでなく周りの人が、女性のライフステージで起こりうる健康課題を正しく理解することで、企業や社会をより活性化でき、テクノロジーで解決していくことで、女性が活躍できる社会の創造につながると学びました。また、企業や医療現場でどのようにフェムテックが取り入れられているのかも知りました。

シネマ・デ・シエスタ（映画上映会）　7/31（水）　チャンシルさんには福が多いね

仕事だけがいきがいだったアラフォーのチャンシルさん。突然失職して、何もかも失ってしまいました。自分は何がしたいのか向き合います。周囲の人や仲間とのつながりにも支えられ・・・きっと誰にでも、どんな時にも、福は隠れている。

～アンケートより～

Q.「あなたはどんな時に幸せを感じますか？」

A.「家族が皆心身ともに元気に過ごせている時」「心が落ち着きほっとする時間」「満腹時」「空がきれいな時」「素敵な人に出会った時」「一日を一生懸命生きて、夜寝る時」「自分が好きなことをしている時」「孫の笑顔を見ている時」等・・・

今後の講座開催予定

10月19日（土）
13:00～16:00
希望まんじゅう作りと ジャーナリストの先駆け 羽仁もと子

10月26日（土）
13:30～15:30
乳がん予防セミナー ＆ リラックス椅子ヨガ

11月24日（日）
14:00～16:00
大阪公立大学　理系女子大学院生チーム　IRIS から学ぶ のぞいてみよう岩石の世界！ ～キラキラステンドガラスづくり～

12月8日（日）
14:00～16:00
大河ドラマ「光る君へ」と紫式部 ～事実・虚構・真実～

相 談 案 内

※対象：岸和田市在住の方

詳しくはこちらから

相 談 内 容	日　　時	連絡先
カウンセラーによる 女性のための面接相談 （オンライン相談も可）	毎月第４木曜日 14 時～15 時 50 分 １人 50 分 ・前日の 17 時までに要予約	Tel　072-441-2535 Fax　072-441-2536 ・オンライン相談の予約 danjoc@city.kishiwada.osaka.jp
カウンセラーによる 女性のための電話相談	第１～4水曜日　11 時～13 時 第１～4金曜日　11 時～13 時 （ただし、5月は第5金曜日、1月は第5水曜日・第５金曜日に振替）	【相談専用】 Tel　072-443-3328
カウンセラーによる 男性のための電話相談	毎月第１土曜日　14 時～16 時 （ただし、5月、1月は第２土曜日）	
DV(配偶者などからの暴力)相談 困難な問題（DV など）を抱える女性のための相談	火曜日～土曜日　　９時～17 時	【相談専用】 Tel・Fax　072-429-9797
女性の弁護士による法律相談 （DV 関連優先）	偶数月：第２木曜日　13 時～15 時 奇数月：第２土曜日　10 時～12 時 １人 30 分・年度内１回 ・前日の 13 時までに要予約	
人権相談	火曜日～土曜日　　９時～17 時	Tel　072-429-9833 Fax　072-441-2536
人権擁護委員による人権相談(面接)	第１・3 金曜日　　14 時～16 時	
障害を理由とする差別についての相談	火曜日～土曜日　９時～17 時 30 分	

内閣府
男女共同参画局
の育児・介護・
仕事・健康等
情報サイトです

利用のご案内

開館時間　午前9時から午後9時まで
休館日　＊毎週月曜日
＊国民の祝日
（月曜日に当たるときはその後の直近の平日）
＊その前日及び翌日が国民の祝日である日
＊スポーツの日の前日及び前々日
＊12 月 29 日から翌年1月3日まで
アクセス　南海本線「和泉大宮駅」から徒歩 10 分
南海本線「春木駅」から徒歩 11 分

駐車スペースには限りがございます。お車でご来館の際はできるだけ乗り合わせてお越しください。また、臨時駐車場も利用可能な日程が限られていますので、満車の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。よろしくお願いいたします。

※création は、フランス語で天地創造、この世の始まりという意味です。

編集・発行
岸和田市立男女共同参画センター
〒596-0042
岸和田市加守町4丁目6番18号
（電　話）072-441-2535
（ＦＡＸ）072-441-2536
（メール）danjoc@city.kishiwada.osaka.jp